

平成20年度 第19回関東高等学校バスケットボール新人大会
山梨県大会要項

- 1 主 催 山梨県高等学校体育連盟・山梨県バスケットボール協会
- 2 主 管 山梨県高等学校体育連盟バスケットボール専門部
- 3 協 賛 (株)モルテン・(株)明星ゴム工業
- 4 期 日 平成21年1月10日(土)・11日(日)、17日(土)・18日(日)
- 5 会 場 東海大甲府高等学校体育館(E・コート 男子 1/10(土)・11(日))
日川高等学校体育館 (G・コート " 1/10(土))
緑が丘スポーツ公園体育館(A・B・Cコート 女子 1/10(土)・11(日))
(1/17(土)・18(日)決勝リーグ戦、5～8位決定戦)
- 6 参加資格
- 平成20年度山梨県高等学校体育連盟に加盟し、日本バスケットボール協会に加盟・登録が完了した高等学校単一チームであること。
 - 平成2年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
 - チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - 転校後6か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
 - 大会参加制限【外国人留学生の出場枠について】
 - 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
 - 在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
 - 平成2年(1990年)4月2日以降に生まれた者とする。
 - 短期留学生は除く。
 - 人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。
- 7 引率・監督
- 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
 - 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。
 - 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 8 参加人員 コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手18名
合計21名を上限とする。
- 9 競技規則
- 現行の「日本バスケットボール競技規則」による
 - 参加チームを4ブロックに分けてトーナメント戦を行い、各ブロックの代表4チームによる決勝リーグ戦を行う。
 - 決勝リーグ戦においては、延長戦は行わない。
 - 決勝リーグ戦において、勝率同チームがある場合は次のとおりとする。
 - 2チームの場合は、相互の試合に勝ったチームを上位とする。
 - 3チームの場合は、該当の3チームのみの試合から得失点差により順位を決定する。
 - 上の9-(4)-①・②で順位が決定できない場合は、該当の3チームの、決勝リーグ戦におけるゴールアヴェレージによりポイントの高いチームを上位とする。
 ※ ゴールアヴェレージは、得点を失点で割って算出する。
 - 5～8位のチームは、順位決定トーナメントをおこなう。
 - 防寒対策のために、Tシャツ等の着用をしてもよい。但し、着用する場合は全員がユニフォームと同色系または、白色のものを着用する。
 - 手袋は、指先、手のひらが見えている柔らかいものであれば可。

10 競技時間 別紙【組合せ表】を参照

- 11 表彰 男女とも3位までを表彰する。
- 12 組合せ 平成20年11月27日(木) 14:00～ 県立甲府工業高等学校五葉会館
各チームの部顧問または各チームの代表選手の抽選による。

- 13 競技上の注意
- ベンチは組合せ番号の若いチームが、オフィシャル席に向かって右側とする。
 - ユニフォームは原則として、組合せ番号の若いチームが白色を着用する。
 - 第1・第2ピリオドに攻撃するゴールは、ベンチと反対側とする。
 - ベンチに入る人数は、大会要項8の参加人員とする。
 - 同一チームが1日に2試合ある場合は、そのチームの2試合目の開始時間を調整する。
 - ① どちらかのコートの試合終了時間が遅れた場合は、その終了時間から10分間の練習時間をとり、両コートの次のゲームを同時に開始する。
 - ② どちらのコートの試合終了時間も早い場合は、定時開始とする。
 - コートでの練習は
 - ① 前のゲームのハーフタイムは、3分前の合図までベンチと反対側のコートで練習してよい。
 - ② 試合前のアップはベンチと反対側のコートで、試合中のハーフタイムはベンチ側のコートで練習してよい。
 - メンバー表は、前の試合の前半終了直後にオフィシャル席と相手チームに提出する。
 - 棄権する場合は、試合の3日前までに専門委員長と相手チームに必ず連絡する。(無断で棄権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。)
 - 試合の速やかな進行に心がける。

- 14 オフィシャル
- 原則として、負けチームが次の試合を行う。但し、大会1日目と2日目の第1試合は、第3試合の両チームがそのコートを担当して行う。
※第2試合から試合が開始されるコートは、第4試合の両チームが行う。
 - 大会3日目以降は、T.O部委員長の作成した要項に従い選出されたチームが行う。
 - 棄権する場合は、責任を持って次の試合のT.Oを行う。

15 責任者

会 場	競 技	記 録・報 道	会 場
緑が丘体育館	1月10日(土) 渡辺 晶(塩山)	宮久保 純子(北稜)	小河内 照仁(甲西)
	1月11日(日) 渡辺 晶(塩山)	佐藤 朗(甲南)	小河内 照仁(甲西)
	1月17日(土) 植松 光和(北杜)	佐藤 朗(甲南)	宮下 敏治(城西)
東海大学甲府	1月18日(日) 飯島 清樹(甲一)	佐藤 朗(甲南)	宮下 敏治(城西)
	1月10日(土) 飯島 清樹(甲一)	一瀬 大樹(身延)	三井 岳人(東海)
日 川	11日(日) 飯島 清樹(甲一)	細田 智彦(吉田)	三井 岳人(東海)
日 川	1月10日(土) 植松 光和(北杜)	細田 智彦(吉田)	古田 厚司(日川)

- 16 諸 注 意 (次のことを、各チームで徹底して下さい。)
- 各会場ともに、上下履きの区別を徹底する。
 - 貴重品の管理は、各チームで行う。
 - ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰る。
 - 会場及び、会場校に迷惑がかけられないように心がける。
 - 会場清掃について
 - ① 朝の清掃を、2ゲーム目の4チームで行う。(※大会初日を除く)
 - ② 帰りの清掃を、最終ゲームの一つ前に終了した試合の勝ちチームが行う。
 - ③ 帰りの清掃に関しては、会場責任者の指導に従い事後の報告をした上で終了する。
 - 各高校会場とも、駐車場が狭いので公共の交通機関をできるだけ利用する。
※ 会場校に迷惑がかけられないように、保護者会やOBへの連絡も各チームでお願いします。

連絡責任者 専門委員長 逆瀬川 慶 浩
勤務先(甲府西高校) Tel. 055-228-5161
携帯電話 Tel. 090-8856-0588